

For
Beginners

支援職員向け

Staff Development

免疫学講座 Series 2

「自己」と「非自己」

-免疫系はいかにして適切な応答を選択するか-



講師： 山口 智之 准教授 (IFReC 1細胞1分子イメージング)

聞き手： 森松 美紀 助教 (IFReC 中央実験室)

2014年 4月23日 (水)

17:40~18:40

微生物病研究所 本館 1F 微研ホール(吹田キャンパス)

免疫という防御システムは体の外から侵入した病原体を攻撃して排除します。

一方で、免疫が自身の体を攻撃する事は通常ありません。

このような「自分でないもの」(=「非自己」)への攻撃性と「自分自身」(=「自己」)に対する非攻撃性(寛容)が免疫の大きな特徴です。体内の何を攻撃して何を寛容するのか？

この問題は様々な疾患の治療につながるため、長きにわたって研究されてきました。

今回の講義では、免疫がいかにして本当の敵のみを認識して攻撃するのか、その巧妙な仕組みについて、IFReCの研究者の貢献を紹介しながら説明します。

お問合せ先:大阪大学免疫学フロンティア研究センター(IFReC)

企画室 06-6879-4777

*このセミナーは日本語で行われます

*This seminar is conducted in Japanese.